



【令和5年度 卒業証書授与式】～それぞれの思いを胸に羽ばたいて～



3月12日(月)明け方まで降っていた雨も上がり暖かな日差しが差し込み、春を感じる好天のもと、小学部3名、中学部6名、高等部6名の児童生徒が卒業を迎えました。



お父さん、お母さん、家族のみんな、そして学校の仲間や先生たちが待つ会場に「卒業生入場」の号令がかかると、一人一人が笑顔いっぱいに胸を張り、入場していました。



それぞれのステージで学びを高めたという自信に充ち溢れた様子がうかがえ、胸が熱くなりました。

卒業証書授与では、担任の先生から呼名をされると大きな声で「はい」と返事をし、凛々しい姿で壇上に立ち、手渡すまで私（校長）の顔を見てやり遂げたという思いをもって証書を受け取ってくれました。一人一人の顔を見つめながら子供たちとの思い出が頭の中によぎり、つい笑顔になっていました。

それでは卒業生の皆さん、新たなステージの扉を自分で開き、目の前にある希望の道を、胸を張り、思いを込めて堂々と進んでください。

皆さんの輝かしい未来を心から願っています。

<卒業生のみなさんへ>

小学部を卒業する3名のみなさん、中学生になっても小学部で培った「やればできる」を思う存分に発揮して友達を増やして中学部の生活を元気いっぱいに過ごしてください。

中学部を卒業する6名のみなさん、高校生になったらこれまでに思い描いた夢や憧れの実現に向けてたくさんの経験を積み重ね、なりたい自分を見つけて力を尽くして何事にも挑戦し続けてください。

高等部を卒業する6名のみなさん、学校というステージを終え、新しい扉の前に立ち、それぞれが思い描く社会へと飛び立つ時がきました。これから向かう新しいステージでの不安は多くあると思いますが、皆さんは一人ではありません。手を差し伸べてくれる友達や家族、周りの仲間がいます。自分が願う未来に向かって自分の歩を一步步ずつ確かめながら具体的に、確実に進んでいってください。「All is well (きっと うまくいく)」を合言葉に、これからも学び続けてください。

【式辞から抜粋】

